



特集
岡垣町
町制施行
60周年記念「巻頭特集」

ふるさと

岡垣の歩みを、未来へ

町制施行60周年を迎える10月1日まで、いよいよ1週間――。広報おかがきでは、8月号〜9月号の2号にわたり、町の歴史や60周年記念事業の内容などを紹介してきました。連載第3弾となる今月号では、町制施行51年目にあたる平成25年以降の歴史を振り返ります。

問い合わせ 企画政策室

まちの歴史を振り返る
――平成25年〜令和4年――

下の年表では、岡垣町の町制施行51年目〜60年目にあった主なできごとを紹介しています。

このころに完成した施設は岡垣町観光ステーション北斗七星や海老津駅南側広場など。波津海岸の自転車道休憩施設であるリンリンクラブ岡垣の完成も記憶に新しく、町の新たな観光拠点としての期待も寄せられています。加えて、新たな特産品や観

光サービスが誕生するなど、町の魅力がさらに増えた10年間だったといえるでしょう。

また、この10年間は、町の情報発信手段が多数増えた時期でもあります。SNS（Facebook・LINE）を活用した情報発信を開始したほか、町内の全戸に戸別受信機を配付し「でんたつくん」での放送が始まりました。なお、町制施行1年目〜50年目にあったできごとなどは、広報おかがき8月号〜9月号で紹介しています。

年	月	できごと
平成25年	4月	● 地域交流センター開館
6月	● 内浦小学校・吉木小学校の校庭を芝生化	
サンリータウンうさぎ坂55	が分譲開始	
4月	● ギラヴァンツ北九州とフレンドリータウン協定を締結	
● 東部保育所民間移譲		
7月	● 岡垣町観光ステーション北斗七星を開館	
● ご当地ナンバープレートの交付開始		
27年	4月	● 情報プラザ人の駅に「Book座 Café」オープン
● 町公式Facebook運用開始		
8月	● 町の公用車が全台青パト化	
● 九州共立大学と包括的連携協定を締結		
11月	● 池田信太郎さん、えもときよひこさん、安河内哲也さんの3人が岡垣町ふるさと大使に就任	
28年	4月	● 岡垣町英語教育改革イニシアティブ2016





池田信太郎さん



安河内哲也さん



えもときよひこさん



③



④

- ① 毎年9月～11月ごろ、町の海岸線ではひしゃくの形をした北斗七星が海水を汲んでいるかのように見える「北斗の水くみ」を鑑賞できる（画像は一部加工しています）
- ② ふるさと大使の皆さん（就任当時）。町の情報をブログやSNSで発信しているほか、町のイベントや講演などに協力いただいている
- ③ 観光ステーション北斗七星では、町のさまざまな観光情報を案内。海沿いでは季節のレジャーを楽しむ
- ④ 本格焼酎「岡垣」と高倉びわを掛け合わせた特産品「岡垣びわ酒」。上品な甘さがあり、焼酎を飲んだことがない人にもオススメの一品※今年分の販売は7ページで紹介しています。

4年5月	12月	5月	3年3月	8月	5月	2年3月	6月	4月	30年3月	11月	10月	4月	29年2月	12月	
●「リンリンクラブ岡垣」完成	●「岡垣びわ酒」販売	● 新型コロナウイルス集団接種開始	● 小・中学校で1人1台にタブレットの配布開始	● 第6次総合計画（まちの未来計画）策定	● おかがままち子育て応援LINE運用開始	● 町営住宅三吉団地（4階建て24戸）完成	● 町内全小中学校の空調整備完了	● 西部浄化センター廃止	● 地域情報伝達無線システム「でんたつくん」運用開始	● 証明書（住民票の写しなど）コンビニエンスストア交付開始	● 本格焼酎「岡垣」販売10周年記念商品「原酒」販売	● 公共交通「デマンドタクシー」導入	● 岡垣交番（海老津駅前）落成	● 町公式LINE運用開始	● 海老津白谷線道路、海老津駅南側広場・自由通路が完成



やまもと かりん
山本 華鈴 さん（北九州市在住）

「ふたり」への愛に感謝しています

— 自身の手掛けたデザインが町のイメージキャラクターに。当時小学生だった山本さんの思いを聞かせてください。

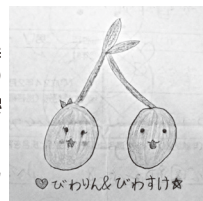
私にとってビワは身近なフルーツだったので、イメージキャラクターのモチーフにぴったりだと思ってデザインしました。袋掛け体験が楽しかったこと、学校の給食などでビワをよく食べていたことを覚えています。ちなみに、最優秀賞に選ばれたことを最初に知ったのは母で、学校から帰るとリビングがお祝い用に飾り付けられていたので、何事かと驚きました（笑）。

イベントに出演したり、グッズやLINE スタンプになったり……。さまざまな場面で「ふたり」が活躍し、世代を問わず愛されている姿を見ると、選んでもらえて本当に良かったと思います。

— 60周年を迎える岡垣町に、コメントをお願いします。

「60年」と一言でいうと実感が湧きづらいものですが、私の父が今年でちょうど60歳……と考えると、身近に感じます。岡垣は「地元だから」ということもあります。人の優しさや温かさを感じる町だと思います。私のふるさとである岡垣町が、これからも発展を続けていくことを心から願っています。

▶当時の「びわりん&びわすけ」(原画)



町制施行 60周年特別インタビュー

「まちへの想い、あの頃も今も」



岡垣町が60周年を迎える——。それはつまり、この町の「ヒト」や「モノ」も、ともに同じ「時」を刻んできたということ。今回は巻頭特集の特別企画として「まちへの想い、あの頃も今も」と題して、山本華鈴さんと早川晴司さんにインタビューを受けていただきました。

自然豊かな、子育てのしやすい町

— 岡垣町で生まれ育った早川さん。今年で60歳を迎えられるそうですね。「昔の岡垣町」についてのエピソードを聞かせてください。

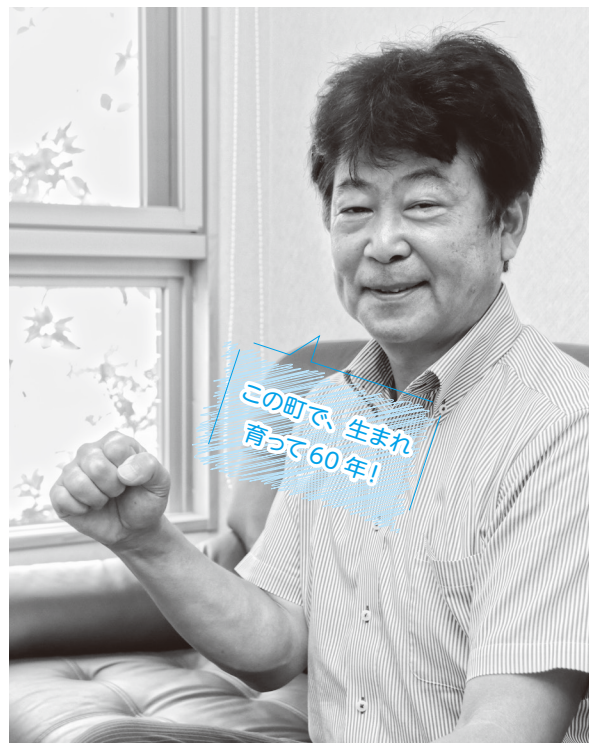
私が小学生だったころは、今と比べると舗装されていない道が多かったことを思い出します。例えば、海老津駅前～岡垣サンリーアイを結ぶ道は、当時は「山」でした。つい最近の話ですが、数十年ぶりに岡垣町に帰ってきた友人が、駅から高倉の自宅に帰るまでの道に迷い、波津まで行ってしまったそうです（笑）。地元にいる人間が道に迷うほどに、道路環境が変わっていることを実感しましたし、便利になったものだなあと改めて思います。

また、昔は娯楽が少なく、学校帰りは友人とともに高倉神社に遊びに行っていました。遊び道具も高価でとても買えなかったため、釣り竿のほか、当時流行っていたローラースケートを、友人と一緒に工夫して自作したことは良い思い出です。

— 60周年を迎える岡垣町に、コメントをお願いします。

町とともに生き、もうすぐ60年……と考えると、感慨深いものがあります。岡垣町の誕生から今日まで、変化した部分はもちろんありますが、自然が豊かで、子育てのしやすい町だという印象が変わりはありません。岡垣町が今後、さらに住みよい町となることを期待するとともに、私自身も町と一緒に成長していきたいです。

早川 晴司 さん（高倉区在住）



60周年をみんなでお祝い!

町制施行 60周年 記念式典を催します

10/2 日 13:30 ~ 16:00 頃

(記念式典= 13:30 から / 記念表彰= 14:10 頃から / アトラクション= 15:10 頃から)

岡垣サンリーアイ ハミングホール



No.1 アトラクション 吹奏楽コンサート

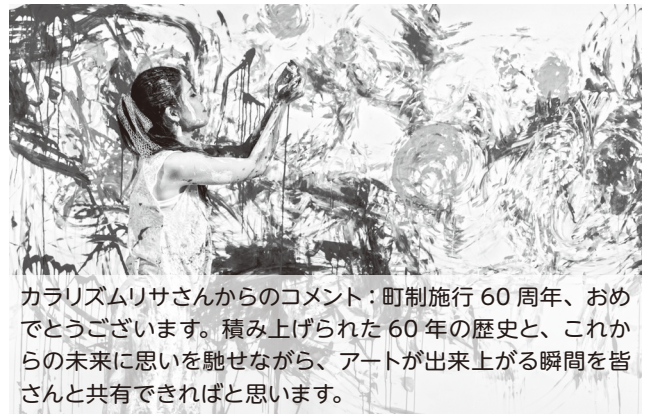
岡垣中学校の吹奏楽部によるコンサート! 今回の演目はNHK2020 ソングとして発表された「カイト」をはじめとする計3曲。心のこもった演奏で、記念式典を盛り上げます。



岡垣中学校吹奏楽部からのコメント: 部員一同、町制施行60周年を心からお祝い申し上げます。私たちが住民の一員として、式典に華を添えられるよう、精一杯頑張ります。拙い演奏ではありますが、お楽しみいただけたら幸いです。

No.2 アトラクション アートパフォーマンス

世界で活躍するアートパフォーマー・カラリズムリサさんによるステージ! 岡垣町のイメージソング「変わらない岡垣」に合わせ、舞台上で巨大アートを作り上げます。



カラリズムリサさんからのコメント: 町制施行60周年、おめでとうございます。積み上げられた60年の歴史と、これからの未来に思いを馳せながら、アートが出来上がる瞬間を皆さんと共有できればと思います。



幸せと住みよさを実感できる町へ

岡垣町は昭和37年10月に町制を施行し、今年で60周年という節目を迎えることとなりました。今日に至るまで郷土を愛し、支えていただいた住民の皆さまをはじめ、長きにわたり町の発展にご尽力いただいたすべての皆さまに、深く感謝申し上げます。

60周年を迎える現在、本町も人口減少や少子高齢化など、さまざまな課題に直面しています。このようなときこそ、先人が築いた歴史・伝

統を継承しつつ、これまでの常識や慣習にとらわれず、新たなことに挑戦する姿勢でまちづくりに取り組む必要があると認識しています。

今後も「住民の皆さまに幸せと住みよさを実感していただける岡垣町」を目指し、全力を尽くしてまいりますので、皆さまの一層のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

岡垣町長 門司 晋